



小建第 22410号
平成19年4月20日

国土交通省
道路局長様

埼玉県比企郡小川町長 笠原喜



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

- 重点化を進める上で特に優先度の高い政策
 - ・ 地方においては、未だに基幹となる道路の未整備箇所が多く、交通渋滞等により移動の効率化が進まず、地域の発展を妨げているので更なる道路整備の促進を図ること。
 - ・ バリアフリー新法に基づく施策を強力に推進して、高齢社会に備えると共に、歩行者優先の道路整備の促進を図る。

- 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと。
 - ・ 効率化を推進することには異論のないところですが、一方で、国民は景観等への関心が高く、例えば、道路構造物を計画する段階で、コスト原理を全面に出した無機質な造形の道路や橋梁よりも、多少のコスト増加を伴っても周囲に調和した余裕の感じられる構造物を計画することも必要ではないでしょうか。いかにして、効率化との折り合いをつけていくかが重要であると思います。
 - ・ 事業の選択と資金の集中による事業効果の早期発現が、効率化に寄与すると思いますので、初期段階において事業計画が停滞しないよう関係者に詳細な説明を行い、理解を得られた時点で事業採択等を行う。

- その他、道路政策や道路整備・管理全般に関する意見
 - ・ 将来、公共投資に占める新設改良費と維持費の比率が逆転すると云われています。早急に維持修繕に対する手厚い助成制度を確立すべきと考えます。（高速道路上に架かる橋梁修繕を東日本高速道路㈱より求められていますが、費用が高額のために対応に苦慮しています。昨年、町単独で鉄道上の橋梁修繕を行いました。助成制度がないため数千万円の費用が掛かりました。）